

平成三十年度大会宣言

現在の社会は、新しい知識・情報・技術が、社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増し、人工知能等の技術革新やグローバル化の一層の進展、人口構造の変化や女性・高齢者等の活躍、雇用環境の変化が予想されています。本年三月八日に公表された第三期教育振興基本計画では、変化に適応するだけでなく、夢と志を持ち、主体的な学びや多様な人々との協働を通じ、人間ならではの新たな価値を創造し、可能性に挑戦するために必要な力を育成すること、次世代まで長期に見通した社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成することを方針に掲げています。

文部科学省は、本年三月三十日に高等学校学習指導要領の改正を告示し、何ができるようになるかを明確にし、知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成、学びに向かう力、人間性の涵養、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、社会と連携し協働する社会に開かれた教育課程の実現を各学校に求めています。私たち教頭・副校長は、常に生徒・保護者・地域の期待を明確に捉え、互いの絆を深め潤いある地域社会を創造する人材を育てるため、校長を補佐し、教育目標の実現に必要な内容を教科横断的な視点で組み立て、教育課程の実施状況を評価してその改善を図り、必要な人的・物的体制を確保し、組織的・計画的に学校の教育活動の質を向上させるカリキュラム・マネジメントに努めることが重要です。

同時に、高等学校教育と少子化・国際競争の進展の中で質的転換を図る大学教育、両者を接続する大学入試を一体的に改革する高大接続改革が進行し、昨年七月十三日に平成三十三年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告が公表され、学力の三要素を多面的・総合的に評価するものへと改善するとしています。既に、大学入学共通テストの導入に向けた試行調査も実施され、一般選抜でも主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をより積極的に評価するため、調査書の改善が示されています。

一方、教員の看過できない長時間勤務の実態の改善に向けて、昨年十二月二十二日に中央教育審議会は、「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（中間まとめ）」を公表し、文部科学省は、本年二月九日に学校における働き方改革に関する緊急対策をまとめ、それには、教員が担うべき業務の適正化、部活動指導員等の外部人材の活用、学校閉庁日の設定が含まれています。各学校は、教員がゆとりを持って子どもたちと向き合う時間を確保していくことが早急に求められています。

私たち教頭・副校長は、高い識見と広い視野を持ち、常に教育行政の動向を注視しつつ、様々な教育課題の解決に向けて率先して行動し、リーダーシップとマネジメント力を発揮するとともに、研究・研鑽に励み、その成果及び経験と体験を共有する機会を持ち続けなければなりません。また、学校運営組織の中心となる人材を発掘・指導・育成し、外部人材も活用し、学校の活性化・特色化を図り、よりよい社会づくりに参画する力を育てる高校教育を推進する覚悟です。

これらのことを銘記し、もって学校教育の充実・発展を期し、次の事項の実現に尽力することをここに宣言いたします。

- 一 夢や志を実現する心身ともに健やかな生徒を育てる、安全・安心な学校の整備と維持
- 一 思考力、判断力、表現力を備え、学びを地域社会の創造に生かそうとする生徒の育成
- 一 未来につながる学校指導環境の整備と、社会に開かれた学校組織を担う人材の育成
- 一 教頭・副校長の研究・研鑽の確保、経験・体験を共有する機会の維持と推進

平成三十年八月二日

第五十七回全国高等学校教頭・副校長会総会及び研究協議大会